

『精子学』(1992)、『新編精子学』(2006) に続く【精子学】成書第3弾
執筆者総勢83名からなる新たな精子のバイブル

最新 精子学

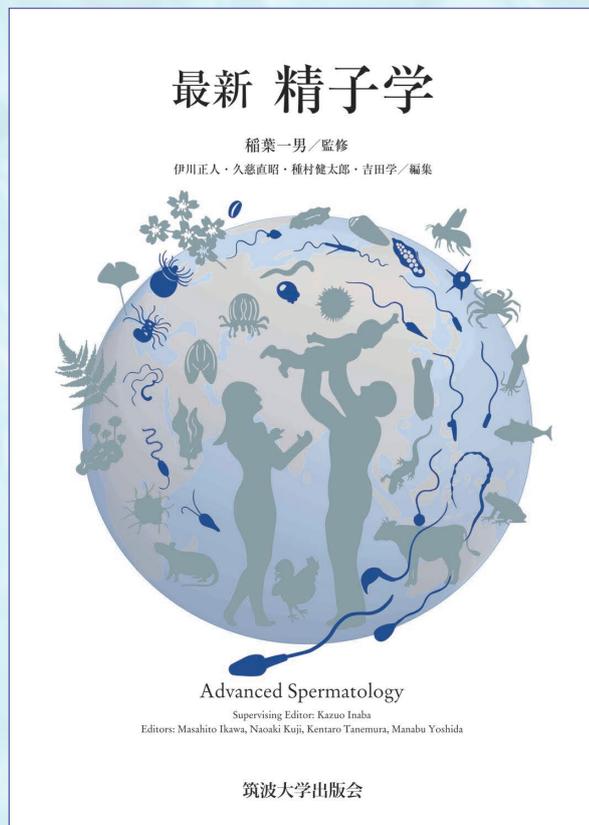
稲葉一男／監修

伊川正人・久慈直昭・種村健太郎・吉田学／編集

◆ 執筆者 ◆

| | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 稲葉 一男 | ・毛利 秀雄 | ・林 克彦 | ・黒岩 麻里 | ・吉田 松生 |
| 石黒啓一郎 | ・伊川 正人 | ・小倉 淳郎 | ・宮田 治彦 | ・石本 健太 |
| 石川 拓司 | ・河合 喬文 | ・岡村 康司 | ・柴 小菊 | ・原山 洋 |
| 河野菜摘子 | ・吉田 薫 | ・吉田 学 | ・藤ノ木政勝 | ・西垣 卓也 |
| 広橋 教貴 | ・日野 敏昭 | ・藤原 祥高 | ・井上 直和 | ・宮戸 健二 |
| 岩尾 康宏 | ・佐藤 賢一 | ・佐藤 健 | ・齋藤 貴子 | ・澤田 均 |
| 佐藤 裕公 | ・寺内 菜々 | ・大和 勝幸 | ・竹田 典代 | ・守田 昌哉 |
| 安房田智司 | ・藤本 貴史 | ・渡邊 明彦 | ・渡辺絵理子 | ・水島 秀成 |
| 笹浪 知宏 | ・松崎 芽衣 | ・後藤 彩子 | ・佐藤 成祥 | ・岩田 容子 |
| 宗原 弘幸 | ・中嶋 康裕 | ・千葉 公嗣 | ・藤澤 正人 | ・押尾 茂 |
| 石島 純夫 | ・石島 早苗 | ・黒田晋之介 | ・湯村 寧 | ・高井 泰 |
| 水野 克俊 | ・竹内 万彦 | ・久慈 直昭 | ・一澤晃一朗 | ・徳田由紀子 |
| 大井川智子 | ・天野 賢治 | ・片桐由起子 | ・岡田 弘 | ・寺田 幸弘 |
| 竹島 徹平 | ・小川 毅彦 | ・笹田 大道 | ・斎藤 通紀 | ・尾定 誠 |
| 吉崎 悟朗 | ・矢澤 良輔 | ・森田 哲朗 | ・川村 亘 | ・浅野 敦之 |
| 中潟 直己 | ・種村健太郎 | ・原 健士朗 | ・島田 昌之 | ・梅原 崇 |
| 若山 清香 | ・若山 照彦 | ・横田 理 | | |

※執筆順



定価 12,650 円 (税込)

生物学、水産学、農学、医学など、精子に関する 知識を分野横断的に網羅した唯一無二の解説書

雄の DNA 情報を子孫へ伝えるために体外で働く精子。本書は、精子の形や内部の構造、形成・運動・受精のメカニズム、進化と多様性など、精子を知るうえで必要な幅広い知識を提供する、精子学のバイブルである。水産や畜産の分野で使われている精子の保存や人工授精の技術、さらに精子の顕微注入など生殖医療分野に不可欠な知識と応用技術、不妊治療の現場なども収録。その他、地球温暖化や宇宙開発といった、私たち人類が直面する課題に対して、精子学の視点で解決策を解説する。

◆ 目次 ◆ (抜粋)

- 巻頭言
- 序論：精子研究の歴史と現状
- 第1部 精子の構造と機能
 - 1-1 精子の形成
 - 1-2 精子の運動
 - 1-3 受精
- 第2部 精子の多様性と進化
 - 2-1 形と機能の多様性
 - 2-2 精子貯蔵・性行動・生殖戦略
- 第3部 医療と精子学
 - 3-1 男性不妊と診断
 - 3-2 生殖医療
- 第4部 畜産・水産分野と精子学
- 第5部 精子をとり巻く社会
- 結語：これからの精子学
- 用語解説
- 索引

【紙 版】ISBN978-4-904074-90-9 B5 判並製

本文モノクロ (356 頁) + フルカラー口絵 (16 頁)

【電子版】ISBN978-4-904074-91-6 B5 判

本文フルカラー (356 頁)



— 筑波大学の知の発信 —
筑波大学出版会
<https://www.press.tsukuba.ac.jp/>

発売：丸善出版株式会社
<https://www.maruzen-publishing.co.jp/>